

平成19年6月13日
消 防 庁

全国瞬時警報システム（J-ALERT）を用いた緊急地震速報の一般への伝達の試行

岩手県釜石市及び兵庫県市川町において、6月18日より、「全国瞬時警報システム（J-ALERT）」を用いた緊急地震速報の一般への伝達の試行を開始します。

1 概要

岩手県釜石市及び兵庫県市川町において、住民の方々に対し、実際に地震が発生した場合に、J-ALERT を用いた緊急地震速報の伝達を行うとともに、事後のアンケート等により一般への伝達に関する課題の抽出・整理・解決策の検討を行います（別紙参照）。

2 目的等

気象庁では、一般向け緊急地震速報の提供を開始するための準備の一環として、緊急地震速報の有効性の検証や課題の抽出を行う目的で、モデル実験を実施しています。モデル実験では、対象地域を設定し、実際に地震が発生した場合に、その地域内の住民の方々等に緊急地震速報を伝達することとしており、地方公共団体・大学・医療機関等の協力を得て各地で実施しています。

消防庁では、J-ALERT の整備に向けて取り組んでおり、今年2月9日から、J-ALERT による津波警報等の一部の情報の送信を開始し、同日から14の地方公共団体が受信、同報無線の自動起動を開始しています。また、消防庁は、緊急地震速報についても、気象庁による一般向けの提供開始と同時期に J-ALERT による送信の対象とする方針で準備を進めています。

そこで、消防庁及び気象庁は、J-ALERT 関連設備を整備済の地方公共団体の協力を得て、J-ALERT を用いたモデル実験として、緊急地震速報の一般への伝達を試行することとしました。

3 今後の予定

試行は、一般向け緊急地震速報の提供が開始されるまで実施します。

また、試行に協力していただく地方公共団体は、今後増える可能性があります。

（連絡先）

担当：消防庁国民保護・防災部防災課
国民保護室・国民保護運用室
伊藤課長補佐・益子
電 話：03-5253-7551
F A X：03-5253-7543

J-ALERTを用いた緊急地震速報の一般への伝達の試行の概要

